

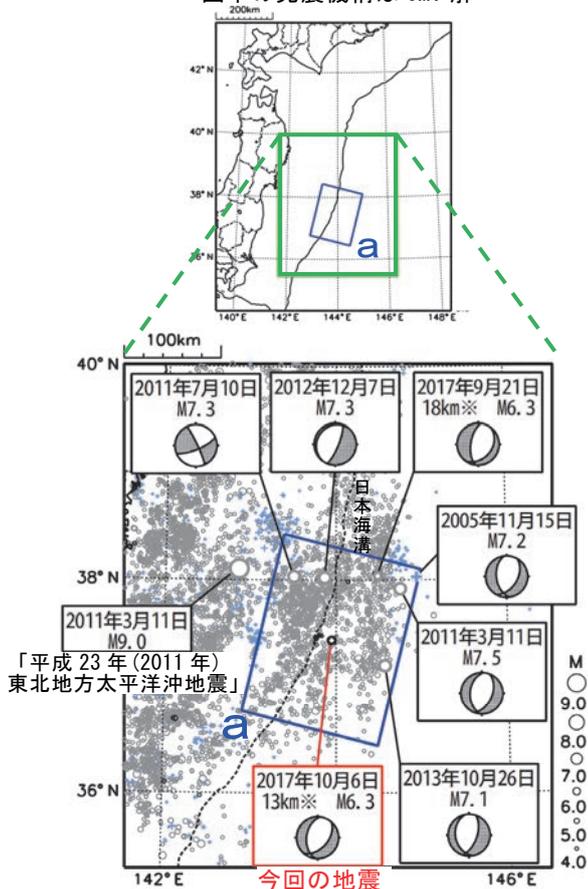
10月6日16時59分 福島県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2017年10月31日、深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を+、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2017年10月に発生した地震を濃い○で表示

図中の発震機構はCMT解

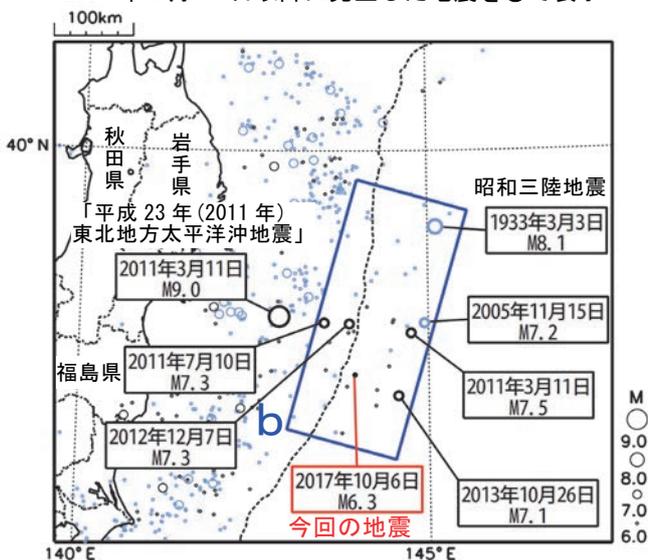


※2017年9月21日の地震及び今回の地震の深さはCMT解による

震央分布図

(1923年1月1日～2017年10月31日、深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を○で表示

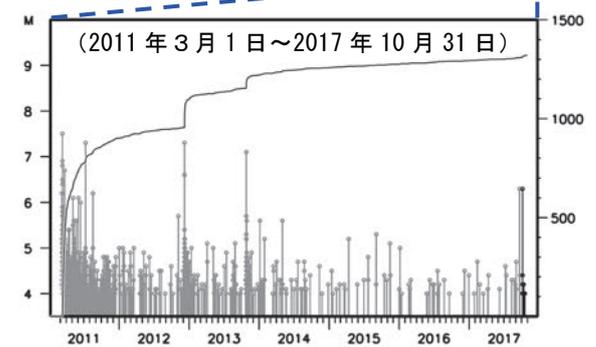
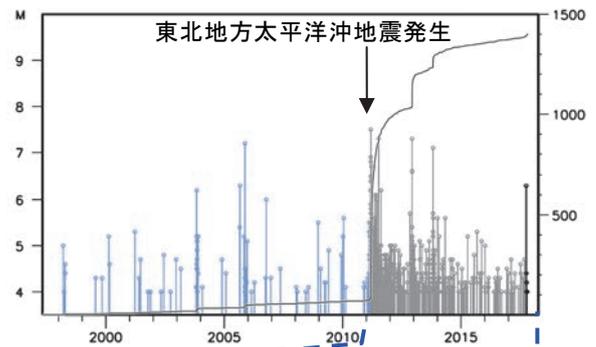


2017年10月6日16時59分に福島県沖の深さ13km (CMT解による) で $M6.3$ の地震 (最大震度2) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、日本海溝付近の太平洋プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生しており、2005年11月15日には $M7.2$ (最大震度3) が発生している。「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降は、 $M7.0$ 以上の地震が4回発生するなど地震活動が活発化している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、 $M6.0$ を超える地震がしばしば発生しており、1933年3月3日に発生した「昭和三陸地震」 ($M8.1$) では、岩手県三陸町綾里湾で28.7m (平均海水面からの高さ) の津波が観測され、北海道から宮城県にかけての沿岸で死者・行方不明者3,064人の大きな被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

